

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議
議事録

日時；平成29年 3月 6日（月） 15：00～17：00

場所：大宮ソニックシティ 705会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		柳澤 紀夫	公益財団法人山階鳥類研究所 評議員
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
		鈴木 伸	鳩山野鳥の会 代表
事業者		千葉 隆仁	東日本高速道路株式会社 関東支社 さいたま工事事務所長
		鹿角 豊	国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所
			東日本高速道路株式会社 関東支社 さいたま工事事務所

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
開 会	<p>・それでは、定刻より少し早いですが、皆様おそろいになりましたので、ただいまより第27回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を始めさせていただきますと思います。</p> <p>本日は、皆様、年度末のお忙しい中をお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。また、本会議は当初12月に開催しようとしておりましたけれども、諸事情によりこの3月、もう年度末近くに開催ということになりまして、まことに申しわけございません。改めておわびを申し上げさせていただきますと思います。私、本日の進行を務めさせていただきます、大宮国道事務所調査課長をしております川邊と申します。本日はよろしくお願いたします。以後、座って説明をさせていただきます。</p> <p>本日の会議の議事は、埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議の規約の変更、埼玉圏央道の平成28年繁殖期の調査結果及び繁殖状況の整理、上尾道路の平成28年繁殖期の調査結果及び行動圏解析等についてとなります。なお、本日の会議は15時から17時までの約2時間を予定しております。御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、議事に入る前に、本日の配付資料について確認させていただきますと思います。資料の並び順に確認をさせていただきますので、もし過不足等あればお教えいただきますようお願いいたします。</p> <p>まずA4ホチキスどめの議事次第、続きまして、同じくA4のホチキスどめで[REDACTED]よりいただいております保護対策会議に向けた意見というものの資料になります。続いてA3版の会議資料①「規約変更(案)」、続いて同じくA3会議資料②「圏央道開通後の調査結果」、続いてA3で1枚になりますけれども、「平成29年繁殖期初期の調査速報」という資料、こちらは事前レクではつけておりませんでしたけれども、開催が3月になりました関係でとりあえず1月・2月の調査結果について速報ということで追加をさせていただきました。続いて会議資料③「繁殖状況の整理」、参考資料①「その他」、会議資料④「繁殖期の調査結果(上尾道路)」になります。こちらは上尾道路の「平成29年繁殖期初期の調査速報」A3版1枚物、会議資料⑤「行動圏解析(案)」、最後になりまして参考資料②「人工代替巣の設置状況」となります。あと当日配付資料ということで、分厚い資料になりますけれども、A3版配付資料①が圏央道の飛翔図、配付資料②ということで上尾道路のオオタカ</p>

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
開 会	<p>飛翔図もつけさせていただいております。以上となりますけれども、資料の過不足等ありましたら、お教えいただきますようお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>では、これより会議を始めさせていただきたいと思いますが、以後の進行は座長にお願いしたいと思います。■■■■、よろしくお願いいたします。(事務局 川邊)</p> <p>・皆さん、こんにちは。前回、私の体調のせいで延期になってしましまして、御迷惑をおかけして本当に申しわけありませんでした。今日はよろしくお願いいたします。■■■■</p> <p>・今御説明があったように、議事次第に従って進めてまいりますけれども、議事に入る前に■■■■からの御意見が提出されておりますので、それについて御報告をお願いします。■■■■</p> <p>・それでは事務局より、■■■■よりいただいた意見書の内容について読み上げさせていただきます。時間の都合上全文読み上げではなく、ポイントについて御報告させていただきたいと思ます。</p> <p>こちらにつきましては、2017年1月8日付で■■■■より大宮国道事務所鹿角宛て、連名で本会議の座長■■■■宛てとして『第27回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議』に向けた意見』ということになっております。こちらは12月に事前レクさせていただきましたけれども、そちらの資料をご覧になられた上でいただいた御意見ということになります。こちらについて幾つか問題提起いただいているところになります。</p> <p>本文中の第2段落冒頭から、まず1点目の問題はということで、前年度の3月に実施された第26回会議の議事録(案)が、なぜ8カ月以上も後の12月まで各委員に提示されなかったのかと。1行下に行きまして、第27回会議の日程調整の際にも、前回議事録の提示が先決である旨を申し入れましたと。3つ下に行きまして、議事録の提示と、もう一つの発議になりますけれども、今年度会議の開催がこんなに遅くなったのか説明を求めたいという点になります。</p> <p>続いて、そちらから2つ下へ行きまして、当該会議で協議されて</p>

項目	主な意見と回答
	<p>きた主要対策について、ほとんど取り組まれてこなかった実態が明らかであると。具体的には「坂戸高架下ビオトープ」と「桶川高架下ビオトープ」の整備に関する進捗状況です。</p> <p>1 ページ目の下から3行目から、こちらについては「坂戸高架下ビオトープ」の経緯を整理して、次回会議で今後の整備のあり方を検討することになっていました。ところが、今回提示された本会議の事前資料では、各委員がどのような意見を述べたのかの記述はあるものの、それに対し道路事業者である大宮国道事務所がどのような見解を示したかという最も重要な部分が一切記述されていないと。</p> <p>また3行目から、後者の「桶川高架下ビオトープ」については一飛ばしまして、今年度になってから全く進展がないと。</p> <p>そちらからまた4行下、3点目は、こうした主要対策の遅れはオオタカの繁殖成績の悪さに結びつくことになる。こちらでこのような状況があります関係で、3行下へ行きまして、高架下ビオトープ対策を早急に進めることは喫緊の課題の一つと考える。</p> <p>また、本段落の一番下から5行目、ましてや、第27回会議から供用段階の維持管理を担う東日本高速道路株式会社が、当該会議の規約まで変更して事務局を担当しますが、上記した両地区の高架下ビオトープの今後の整備等はどちらが責任を持つものとなるのでしょうか。本来、圏央道の供用開始が明確となった段階で、積み残しとなったビオトープ整備はいつまでにどの機関が実施するのかは、当該会議に諮ってしかるべき重大課題だったのではないのでしょうか、ということで、とりあえず当方整理で5点ほど問題提起をいただいているところとなります。</p> <p>いただいた御意見のうち、まず前回議事録確認の遅れ及び今回会議開催の遅れについて回答をさせていただきたいと思います。</p> <p>前回会議の議事録確認につきましては、最近の本会議のロジ的な面の傾向からいきまして、次回会議の事前レクを行う際に各委員の皆様へ直接お渡しさせていただいて確認をお願いしておりました。そのため、今回も同様にそのような形で考えておりました関係で、結果的に前回会議開催から非常に時間がたった状況で御提示をさせていただいてしまったということになります。今後は、次回会議の事前レクの際ではなくて、議事録の準備ができた段階で速やかに各委員の皆様へ、郵送という形になるかもしれませんが、御</p>

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
	<p>確認をお願いしていきたいと思っております。</p> <p>また、今回会議開催の遅れにつきましては、昨年度までは工事の実施とか工事再開等の判断に関する御審議をいただくことがあったため、会議の開催頻度が多かったところですが、圏央道の開通後の審議につきましては第25回及び前回第26回会議で審議いただいたとおり、繁殖期完了後の1回、こちらについては11月から12月というで行うと予定させていただいております。このため、当初その時期で日程調整をさせていただいていたのですが、先ほど冒頭お話しさせていただいたように委員の皆様様の御都合等で非常に時期が遅れてしまったものとなります。こちらについては、次回以降もなるべく早目に日程調整をさせていただいて早期の会議開催をさせていただきたいと考えております。</p> <p>坂戸高架下及び桶川高架下のビオトープ整備、及びその責任分担につきましては、後ほど個々の審議の際に回答させていただきたいと考えております。</p> <p>とりあえずは以上です。(事務局 川邊)</p> <p>・ありがとうございました。よろしいですか。 [REDACTED]</p> <p>・これは(第27回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議に向けた意見2017.1.8)前もって先生方には配られている……。では、前もって読んでもらっているというところでもいいわけですね。 [REDACTED] のところへ行っていますよね。 [REDACTED]</p> <p>・今初めて見ました。 [REDACTED]</p> <p>・ああ、そうですか。 [REDACTED] のところは。 [REDACTED]</p> <p>・ [REDACTED] には先にお送りさせていただいて、ほかの方々は本日の会議での配付とさせていただいております。(事務局 川邊)</p> <p>・普通は、座長に送れということになったら委員にも送るのは一般的だと思うのですが、そうすると突然、委員の方は今日、これを見てすぐに意見を言わなくてはいけないということになると思いますので、そのあたりは今までのルールからいっても、たしか</p>

項目	主な意見と回答
<p>議事</p> <p>(1)「埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議」規約の変更</p>	<p>前に意見を文書で出したときにも前もって委員の方には配られていたと思いますので、その点十分注意してほしいと思います。</p> <p>それから議事録の件についてですけれども、前は基本的には郵送ですよね。非常に日程が詰まっているときには次のこういう会議の席で配られることはありますけれども、通常は全部郵送で来て、郵送の中に返信用にこの議事録で了解か了解しないか、了解しなかった場合には何ページで、その部分をコピーしてファクスなり連絡してほしいというのが今までのそういう形ですので、少なくとも郵送というのが基本だったと思うのですが、その点はどうか、事務局。 [REDACTED]</p> <p>・申しわけございません。最近の傾向ということで、次回の事前レクということで考えてしまっておりました。今おっしゃっていただいたように、郵送で対応させていただきたいと考えております。(事務局 川邊)</p> <p>・ということは、今までは事前のレクのときに渡していたということは、基本的には認識不足だということですよ。 [REDACTED]</p> <p>・最近はそうだったということです。(事務局 川邊)</p> <p>・最近ではなくて、委員会はずっと続いているわけですから。少なくとも議事録というのは非常に大事なことで、なるべく早く確認すると。僕がいつも懸念するのは、大宮国道事務所でも公開が原則なのでいつまでに出してほしいということで、かなり早目に早目にやってきたわけですから、そういう点では何か今回は、私としては遅いことも含めて非常に疑問に思ったということです。 [REDACTED]</p> <p>・では、よろしく御対応をお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、議事次第に従って(1)「埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議」の規約の変更に関して御説明をお願いします。 [REDACTED]</p>

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>(1)「埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議」規約の変更</p>	<p>・それでは、会議資料④『「埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議」規約（変更案）」について御説明をさせていただきます。表紙をおめくりください。</p> <p>1 ページ目になります。こちらはA3の左側が現在の規約になっておりまして、右側が変更案、変更箇所について赤字で記載をさせていただいております。</p> <p>まず、右肩冒頭のところにつきましては、前回「平成19年12月5日」。こちらは本日御了解をいただければですけれども、「平成29年3月6日改訂」とさせていただきます。</p> <p>まず変更点、第6条（期間及び任期）につきまして、1行目、従前「本会議の期間及び任期は、保護対策完了・供用後の一定期間（2営業期を原則とする）」とさせていただいておりました。変更案としまして「2営業期」ではなくて「3年」とさせていただいております。こちらは前回の会議等でも、今後の調査方針でお示しをさせていただいて御了解いただきました今後の調査期間についての変更ということに合わせて規約も修正をしているものです。</p> <p>また第7条（事務局）、今までは国土交通省大宮国道事務所のみ事務局としておりましたけれども、こちらについては引き続きですけれども、国土交通省につけ加えまして「及び東日本高速道路（株）さいたま工事事務所」も事務局につけ加えさせていただければと考えているところでございます。</p> <p>続いて2ページ目、こちらにつきましては施行期日の話になります。第10条、もともと「この規約は平成19年12月5日から施行する。」というもので、今回改訂を御了解いただければ、「この規約の改訂は平成29年3月6日から施行する。」、本日から施行するものとさせていただきます。</p> <p>説明は以上となります。（事務局 川邊）</p> <p>・ありがとうございます。規約の3点ほどの変更ということですが、御意見いかがでしょうか。 [REDACTED]</p> <p>・6条の2営業期を3年に変えたという根拠といますか、その理由は何なのですか。 [REDACTED]</p> <p>・今のお話ですと、前回の会議のときに我々の意見を取りまとめて、</p>

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>(1)「埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議」規約の変更</p>	<p>それに対応させたというお話ですけれども、ちなみにどんな意見がその場で出たかは今わかりますか。 [REDACTED]</p> <p>・前回の際に今後の調査方針案を当方から御提示させていただいております。</p> <p>28年3月22日、参考資料で今後の調査方針というものを御提示させていただいております。こちらの中で保全措置検証のための調査とフィードバックということで、毎年の繁殖の成否及びその状況を調べます。期間は少なくとも各所の開発事業の実施中から完了後3年は行うことが望ましいと。こちらにつきましては猛禽類保護の進め方がそのようになっておりますので、この圏央道につきましても2営巣期ではなくて3年がいいのではということをお話をさせていただいております。それでとりあえず御了解いただいたかと。(事務局 川邊)</p> <p>・時間がたち過ぎて忘れてしまう。 [REDACTED]</p> <p>・ほかに御意見はよろしいですか。では、御提案のとおり変更をさせていただき、本日付で改訂ということによりよろしくお願いします。 [REDACTED]</p>
<p>(2) 埼玉圏央道 1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>・それでは、次に平成28年繁殖期の結果の御報告ですが、会を延期していただいた関係もあって、その後の情報が若干とれているというお話で、それも含めて御説明をよろしく申し上げます。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、調査そのものの御報告になります。こちらにつきましては、今規約でNEXCOが追加いただくことにご了承いただきましたので、圏央道関係につきましてはNEXCOから御説明をさせていただきます。(事務局 川邊)</p> <p>・それでは、会議資料②「圏央道開通後の調査結果」につきまして御説明させていただきます。私は、先ほど議事(1)で規約の変更について御了解をいただきまして、今回から事務局になりましたNEXCO東日本さいたま工事事務所の石田と申します。どうぞよろ</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>しくお願いいたします。(事務局 石田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を個別にやるというのはわかりにくいですよね。圏央道はもうNEXCOなのかとか、そのあたりの方針を。先ほどその都度説明しますということとなると、その都度意見を言わなければいけないので、今後の方針として役割分担はどうなるのかという、そのアウトラインだけは先に示してもらわないと、ここは圏央道だからNEXCOさんなのかなというふうになってしまうのでね。■■■■ ■■■■ ・調査関係につきましては、現時点圏央道が開通したこともありまして、NEXCOで調査を実施しております。このため、その調査結果の御報告もNEXCOからさせていただきたいと思えます。 なお、先ほどの御意見にもありましたけれども、ビオトープの関係、桶川加納から東のところだとか、そちらの計画だとか方針、また整備した後のフォローアップ関係につきましては国交省及びNEXCOで実施させていただきます。実際のビオトープとかの整備そのもの、その後の管理についてはNEXCOで実施するという形になりますので、計画段階につきましては国交省、その後の整備関係はNEXCO、オオタカの調査関係につきましては、今後はNEXCOで実施するという形で考えております。(事務局 川邊) ・わかりづらいよ、これ。2つが両方とも認識するという意味ではないの、これ。仕事内容を分担して両方でやるということ、この「及び」というのは？■■■■ ・当然国土交通省も一緒になってやっていきます。なもので、話が何かあった際にはうちにお話いただいてもそれは結構です。(事務局 川邊) ・両方で共有するということですね。■■■■ ・情報は共有します。説明だけ、そのような形でさせていただきます。(事務局 川邊) ・これは、その役割分担を明文化してもらったほうがいいですかね。

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>● [REDACTED]</p> <p>・ そうですね。そのほうがわかりやすいですね。 [REDACTED]</p> <p>・ できますか。 [REDACTED]</p> <p>・ 規約にそのような形で入れるということですか。(事務局 川邊)</p> <p>・ いやいや、規約の中でなくてもいい。附則みたいな形で。私たちにわかるようなものを文で出してもらえれば。 [REDACTED]</p> <p>・ 委員がきちんと理解、共有できるようにということで文言を書いて。 [REDACTED]</p> <p>・ では、その辺をわかりやすく紙に書いたもので、次回までにそれをつくって御提出するようにさせていただきます。(事務局 川邊)</p> <p>・ よろしくをお願いします。それでは、引き続き石田さん、御説明をお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・ それでは、会議資料②につきまして御説明をいたします。</p> <p>1ページめくっていただきまして、裏面が目次でございます。資料は2章立てとなっていて、第1章が「猛禽類のモニタリング調査」の結果となっていて、第2章が「坂戸高架橋下における環境調査及び希少植物生育可能性調査」という構成になってございます。</p> <p>それでは、順に第1章より御説明いたします。2ページ目でございます。こちらが平成28年繁殖期の調査結果の概要でございます。</p> <p>上段に調査箇所的位置図、下段に28年繁殖期の調査結果の概要を記載しております。なお、調査地Cにつきましては、上尾道路の調査地、北本市石戸宿と同じ箇所でございます。概要としましては、成鳥の出現や営巣林への出入り、ディスプレイなどは確認されましたが、調査地L以外各調査地で営巣は確認されなかったところでございます。また、調査地Lにおいては3月に抱卵が確認されましたが、4月29日に抱卵放棄が確認され、その後5月には巣材</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>の積み増し等巣への執着が見られ、また交尾も確認されたところですが、繁殖まで至らなかったというような結果になっております。これにつきましては、後ほど詳しく状況については御説明をいたします。なお、表の一番下が27年の調査結果ということで参考に記載してございます。</p> <p>続きまして、3ページ目、4ページ目がそれぞれの調査箇所の位置図となってございまして、あわせて表の中に各年の巣の諸元も記載してございます。</p> <p>続きまして、それでは各調査地ごとに順に御説明をいたします。まず、5ページ目をご覧ください。調査地Aでございます。左側に繁殖経緯の表を記載してございます。調査地Aでは、これまでに平成10年から20年及び開通後の24年に繁殖の成功というのを確認されているところでございます。</p> <p>続きまして、営巣箇所の位置図でございまして、6ページ目が28年の繁殖状況の出現状況ということで、ちょっと詳しくした資料でございます。個体の出現等を1月から確認されてございまして、3月にはディスプレイ飛翔や4月には餌の運搬等確認されていまして、5月以降につきましては、繁殖指標行動は特に確認されていないところでございます。ちなみに、この赤字にしているところが繁殖指標行動ということで、色をつけさせてございます。</p> <p>続いて、7ページ目は月別の飛翔図でございます。なお、圏央道の南側にノスリの営巣が確認されていまして、巣の位置とこれまでの繁殖状況についても記載をあわせてしてございます。</p> <p>続きまして、8ページ目は齢性別の飛翔図となっております。</p> <p>続きまして、9ページをご覧ください。調査地Aにおけるノスリの確認状況でございます。調査地Aにつきましては、圏央道の南側にノスリが確認されてございまして、確認状況としましては、3月から4月に前年と同じ巣周辺で繁殖指標行動が確認されていまして、6月には営巣木周辺での飛翔やとまりは確認されず、7月調査においてノスリの確認がされなかったため、抱卵段階での繁殖失敗ということを確認しているような状況でございます。</p> <p>続いて、10ページはノスリの飛翔図でございます。</p> <p>続きまして11ページ目、調査地Bの調査結果でございます。調査地Bでは、これまで平成12年～17年及び平成19年～21年、また開通後の22年～26年において繁殖の成功が確認されて</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>いるところがございます。右が営巣箇所の位置図でございまして、裏面12ページ目が各月別の出現状況ということで取りまとめた表でございます。個体の出現が1月から確認されてございまして、2月・3月においてはディスプレイ飛翔が確認されましたが、4月以降は繁殖指標行動が特段確認されず、営巣もされなかったというような状況でございます。</p> <p>続いて、13ページ目は月別の飛翔図でございまして、14ページ目が齢性別の飛翔図でございます。</p> <p>続きまして、15ページ目が調査地Cの調査結果でございます。調査地Cにつきましては、これまで平成15年～17年に繁殖が確認されているというところがございます。右が調査地の位置図ということで、上尾道路Ⅱ期のところにちょうどかかってくるというようなところがございます。</p> <p>続きまして、16ページ目をご覧ください。各月別の出現状況ということで取りまとめた表でございます。2月・3月に誇示ディスプレイや求愛ディスプレイというディスプレイ飛翔が確認されましたが、4月以降は繁殖指標行動は確認されず、営巣も確認されなかったというような状況でございます。</p> <p>続いて、17ページ目は月別の飛翔図でございまして、18ページ目が齢性別の飛翔図となっております。</p> <p>続きまして、19ページ目が調査地D-Eの調査結果でございます。調査地D-Eにつきましては、平成16年と18年、20年及び平成22年～23年に繁殖が成功しているということが確認されております。右が営巣箇所の位置図でございます。</p> <p>続きまして、20ページ目をご覧ください。こちらに各月別の出現状況をとりまとめてございます。1月に個体の出現が確認されておりまして、4月におきましては求愛ディスプレイ飛翔が確認されていまして、5月以降につきましては繁殖指標行動は特段確認されず、営巣も確認されなかったというような状況でございます。</p> <p>続いて、その隣の21ページ目は月別の飛翔図でございまして、22ページ目は齢性別の飛翔図でございます。</p> <p>続きまして、23ページ目は調査地BとCとD-E間のオオタカの往来状況について整理したものでございます。こちらにつきましては、同日に調査を行ったこの3地域の2月・3月の調査結果について整理したものでございます。表1-10で各月別の2月・3月</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>の出現状況ということで整理、表にさせていただきます。また、この3地区における飛翔状況をまとめたものが24ページ目と25ページ目という形で、飛翔図を整理させていただきます。この地区の中でそれぞれ往来しているということがうかがえる状況でございます。また、調査地Cや調査地Bの周辺で求愛ディスプレイが確認されており、つがいを形成しようと試みた行動もうかがえますが、結果として28年のシーズンにおいては繁殖まで至らなかったというところでございます。</p> <p>続きまして、26ページ目が調査地F-Lでございます。左側の黄色く着色してある表が調査地F、また右側のピンク色に着色している表が調査地F-Lの繁殖経緯の表でございます。調査地Fにつきましては、これまで平成12年～17年と25年、調査地Lにおきましては平成21年と26年・27年に繁殖成功というのを確認しているような状況でございます。</p> <p>27ページ目が、それぞれの調査地の位置図でございます。</p> <p>続きまして、28ページ目をご覧ください。各月別の出現状況でございます。調査地Fにつきましては、特段繁殖指標行動というのが確認されず、営巣も確認されなかったということでございますが、調査地Lにおきましては巣のL2で営巣及び抱卵というのを確認されたところでございます。また、4月に入りまして、29日までは抱卵姿勢を確認しましたが、29日以降抱卵を放棄したというような行動が確認されております。ただ、その後、5月に入りまして引き続き巣材の運搬や交尾等が確認されているというような状況でございます。</p> <p>こちらを詳しく解説したものが、その前に29ページ目と30ページ目がそれぞれの飛翔図でございまして、31ページ目にCCDカメラモニタリング結果ということで、こちらはカメラで定点観測していますので、詳しく分析して整理した結果が31ページ目以降でございます。</p> <p>31ページ目がCCDカメラのモニタリングで、左上の写真から古い日付で始まってございまして、3月3日の段階で巣材運搬というのが確認されております。また、3月15日におきまして、フクロウの来巣というかフクロウへの攻撃というのがカメラで確認されております。また、3月28日におきましては、この赤く丸で囲っているのですが、巣の中に卵があるということが確認されてい</p>

項目	主な意見と回答
1) 平成28年度繁殖期の調査結果	<p>るような状況でございます。その後抱卵姿勢をとっているのが確認されました。</p> <p>その後、4月22日におきましては、巣の中にあつた卵3個のうちの1個を自ら食べたということが確認されております。その後ヘビの接近があつて追い払うというような行動が見られまして、また4月27日には、カメラには映っていませんでしたが、何らかの対象に向けて相手に立ちはだかるような、羽を広げるような行動が確認されたというところでございます。その後、4月29日におきましては、抱卵の放棄というのが確認されてございます。</p> <p>ただ、その後も5月にかけて巣材の運搬というのが確認されてございまして、5月19日におきましては、赤く丸で囲っているのですが、交尾が確認されているという状況でございます。また、その後も6月にかけて来巣とか確認されているのですが、繁殖まで確認できなかったという状況でございます。</p> <p>また、自ら卵を食べたという行動でございますが、もう少し時間を追って詳しく整理したものが32ページ目以降の資料となっております。</p> <p>まず、4月22日の卵を自ら食べたという状況でございますが、10時52分の時点で巣内に卵が3つあるということを確認してございます。続いて、10時54分の段階で3個のうち1個の卵を自ら食べたという行動が確認でき、その後13時40分においては再び卵の殻を破り中身を食べたという行動が確認されてございます。13時56分においてはその卵の殻をくわえて持ち出そうとしたが、脱落し巣材にひっかけたという状況が確認されました。なお、真ん中の写真の下、少し丸く囲ってある写真ですが、6月16日にこの巣材にひっかけた卵の殻をカラスが持ち出したというのがカメラで確認されました。</p> <p>続いて、同じ4月22日のヘビの接近状況ですが、16時42分に抱卵姿勢が確認されていまして、その後、気になる相手が出現したということで追い払う行動が確認されているような状況でございます。16時43分の状況におきまして画面の右上の枝よりヘビが巣へ接近していたという状況が確認されまして、そのヘビにつかみかかって引きずりおろすという状況が確認されているような状況でございます。</p> <p>以上が、この4月22日の状況でございます。</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>続きます、33ページ目が4月27日の状況でございます。27日におきましては、15時5分の段階で抱卵姿勢ということでとっておりまして、その後もその下の気になる相手が出現かということで、画面には映ってなかったのですが、羽を広げて追い払う行動が確認されているような状況でございます。その後の日時においても何に対してかちょっと映っていなかったのですが、追い払う行動が見られて終日抱卵姿勢をとっていたという状況でございます。</p> <p>続いて34ページ目が、まず28日につきましては終日抱卵姿勢を維持しておりまして、巣の中に卵が1個あるということが確認できているような状況でございます。</p> <p>また、その翌日の29日におきましては、5時30分から8時52分までは抱卵姿勢を維持していることが確認されておりまして、8時53分に立ち上がったときに巣の中には卵が確認できなかったというところがございます。その後、9時50分に巣の縁に移動しまして、巣を離れということが確認されまして、その後1時間ほど巣を離れて巣に戻ってきたのですが、抱卵姿勢はとらなかったというような状況でございます。なお、この34ページの右側に少し丸く囲ってあるところですが、6月29日に林内調査を実施した結果、営巣木L2周辺でオオタカの卵の殻が落ちていたということが確認できまして、恐らく3個目の卵なのかなというところがございます。</p> <p>抱卵中止になった明確な要因というのはわからないところですが、4月28日から29日の夜間にかけて何らかの天敵に卵を奪われたのではないかとと思われるところがございます。</p> <p>続きます、35ページ目がフクロウの巣箱利用状況調査結果でございます。</p> <p>調査地Fにおきましては、フクロウの巣箱ということで2つ設置してございます。巣箱の①、②とも発泡スチロール及び出入りに痕跡が確認されませんでした。次の36ページ目でございますが、6月15日に行った巣箱の状況調査を受けて巣箱の中をカメラ撮影したところ、巣箱②の中で鳥類の卵が確認されました。これを採取して分析を行った結果、フクロウの卵であるということが確認されました。恐らく春季に巣箱を利用して産卵まで行ったものの、何らかの理由により繁殖途中で失敗に至ったのではないかと推定される所でございます。</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>なお37ページ目でございますが、調査地Lの周辺でフクロウの死亡個体が4月13日に確認されました。フクロウの死亡個体につきましては、頭部が消失しておりまして、猛禽類、恐らくオオタカと思われるものに捕食をされたのではないかとということで可能性として考えられるところでございます。</p> <p>38ページ目がフクロウの死亡個体の確認位置と調査地L・Fの位置関係ということで、フクロウの死亡個体が巣箱の②から直線で約2キロ離れたところで確認されたということでございます。</p> <p>以上が平成28年の猛禽類のモニタリング調査結果でございます。</p> <p>続いて、参考までに平成29年の繁殖期の調査速報ということで、この会議資料②の後ろに1枚紙で載せてございますが、今年の1月・2月の繁殖期初期の調査結果の速報ということで御報告をさせていただきますと思います。</p> <p>調査地A・B・C・D・E・F・Lにおきましては、個体の出現というものがそれぞれ確認されていまして、調査地Aにおきましては営巣林への出入りや鳴き声が確認されてございます。調査地Bは成鳥の出現が確認されておりまして、調査地Cにおきましては個体の出現とあとディスプレイや防衛行動、営巣林への出入りや鳴き声というものも確認されているところでございます。続いて調査地D・Eにつきましても、営巣林への出入りや鳴き声というものが確認されてございます。調査地Fにつきましては、ディスプレイと防衛行動というのを営巣林への出入りや鳴き声が確認されているような状況でございます。また調査地Lにつきましては、成鳥の出現ということで確認がされてございます。ですので、引き続き3月においてもモニタリング調査を行いまして、状況の把握に努めてまいりたいと思っております。(事務局 石田)</p> <p>・今年度のちょっと厳しい調査結果の御報告だったのですけれども、今の御説明で御疑問の点とか御意見とかございましたら、出していただきたいと思っております。いかがでしょうか。 [REDACTED]</p> <p>・かなり繁殖の成績がよくないのですけれども、もちろん基本的に道路をつくったということで車が通って当然少なからず影響があるに決まっているので、道路以外のことで共通している何か、うま</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>く繁殖できなかつた理由というのは何かあるのですか。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 供用開始されているところですから、道路の構造によって環境が大きく変わるといことはもう過ぎている。とすると、その地域の土地利用のあり方ですとか人のかかわり方とか、そういったところの影響がどうかというところが気になるわけですが、そういう点は情報として把握されていますか。 [REDACTED] ・ 繁殖がうまくいかなかったという詳細な理由はちょっと不明なところですが、1つはやはりつがいの形成が不調だったということが言えるのではないかなと思います。1月、2月の結果においてはディスプレイとか営巣林への出入りというのは確認しているので、今後も継続して調査を、モニタリングしていきたいなと思っています。(事務局 石田) ・ これここ、すごく大きなことで。道路を通す、それは我々世代には大変便利でいいことです。しかし、将来世代から見るとこの道路が50年から100年もすればごみになっていってしまうこともあるわけで、将来世代からするとこういう自然生態系を守ってやるということは最大の財産ですよね。道路は今の財産だけど、将来世代はこっちだよ、財産というのは。だから、両方どう成立させるかということが非常に重要なことで、ここはそのための委員会です。 <p>だから、道路をつくるという技術をもっておやりになるわけけれども、同じウエートでやはりこの将来世代の財産をどう守るかということをやらないと、これではしょうがない話で、子供に何ていうかですよ。これ、子供や将来世代の最も大切な生存基盤だから。オオタカというのは、その生態系の頂点だからオオタカと言っているのであって、別にオオタカだけを守る意味ではないですよ。そういう物凄く重要なことがあるので、その両立をどう調和させるかというのがこの委員会で、片一方の自然をどうするのかの意見表明が余り軽過ぎる。それはやはりちょっと片手落ちだろうと思いますよ。だから、道路をつくるということと同じウエートでやはりこういう調査をちゃんとして、なぜこうなったのかという、将来世代の財産を奪ってしまったのではないかと、これからどうするのだということが問われているわけだから、これだけ繁殖がう</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>まくいかない要因分析はもっと真剣にやる必要があるのではないかなという感じがしますね。 [REDACTED]</p> <p>・周辺の開発関係というものは、大規模なものは確認されていないものがございます。実際何かしらの影響が何かあったのかなということについては引き続き調査をさせていただいて、それでまた御審議いただければと考えております。(事務局 川邊)</p> <p>・次回で……。 [REDACTED]</p> <p>・そういう点では、やはり坂戸高架下と桶川の高架下のビオトープも、これはあくまでも代償措置としてビオトープ化をしようと言った決めたわけですけれども、それが全く進んでいないわけですよね。道路供用だけはもうどんどん進んで車も増えているということ。この坂戸高架下と桶川高架下のビオトープについても、この委員会で整備することを決めたことなので、こういう営巢の結果を見れば早くビオトープ化をすることが喫緊の問題だと思うのですけれども、どうでしょうかね、座長。 [REDACTED]</p> <p>・最初に、今後どう取り組むかということをお話されるということなので、この後話が出てくるかと思うのですけれども、きちんと [REDACTED] が納得されるように御説明をしていただければと思います。</p> <p>私からは、まだ御発言のない [REDACTED] と [REDACTED] にお話しをさせていただいて、その後でダブらなければしたいと思います。よろしくお願ひします。 [REDACTED]</p> <p>・ここへそれぞれ来ている「成鳥」と書いてあるのだけれども、去年と同じ個体かどうか、わかりようがないというか、それも月に1回ぐらい見にいったということはあるけれども、カメラのついているところではどうですか。ここ何年間か同じ個体のついでだったかどうかということ。 [REDACTED]</p> <p>・調査会社です。去年と今年というような意味では個体の識別はできておりません。今年のものについては、成鳥の雄と雌がそれぞれ</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>識別できているという状況です。(事務局 小園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今年」というのは何年。 [REDACTED] ・28シーズンのカメラに映っていた個体とH27との違いというのが識別できていません。(事務局 小園) ・ああ、そうですか。わかりました。そうだと、誰が来たのかということがわからないので、FとLくらいがちゃんと見えるということだと思いますけれども。 <p>あと、今年の速報の部分、29年1月・2月ですけれども、ごめんなさい、これ1月と2月と書いてありますが、日付が書かれていません。例えば2月は1日と25日ではまるでオオタカの行動としては違うので、それは入れておいてください。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よろしいですか。 [REDACTED]。 [REDACTED] ・先ほど、 [REDACTED] から現在こういった道路をつくったりなんかするのは我々の財産だけ、将来世代につながる財産は何だということをやはりきっちり考えるべきだったということをおっしゃっていましたが、私自身もオオタカ等保護対策検討委員会、つまりオオタカの対策をやっていけばいいのかという疑問が長いことありまして、その辺の基本的なスタンスというか理念なのか、あるいは自然と共生する中でのオオタカ対策なのかといった、そういう基本的なものをきっちりやっておけば、10何年間続いてきたのですけれども、ぶれないでいろいろ議論ができたのかなと大いに反省しておりますけれども。 <p>もう1点、むしろこれは皆さんの中で知っていれば教えていただきたいのですが、ことしのこのモニタリングの結果の概要の中で、これはオオタカも大変だなと思ったのは、ヘビはあらわれるわ、カラスは来るわ、フクロウが襲ってくるわということで大変な中で営巢している。私、寡聞にして経験もあれもないのですが、あったら教えていただきたいのですが、自分の卵を自分で食べてしまうというケースは結構あるのでしょうか。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時々、鳥では起きるようです。 [REDACTED]

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時々。 [REDACTED] ・それは、自分で産んで、ある期間抱卵したけれども、有精卵ではなかったというようなことが理解できたらばやるということはありません。 [REDACTED] ・それは本能的にすることですか。 [REDACTED] ・あるいは何か卵に傷がついてだめだなと雌が見て決心をしたら、多分処分のためにすると思います。 [REDACTED] ・ということは、それはもうその成鳥の親の判断でもってやっているということですね。たまにあるということですね。ありがとうございました。結構です。 [REDACTED] ・そうですね。抱卵している際の抱卵斑ができますよね。あその毛細血管が形成されて集中して、卵との温度のやりとりだとかいろいろな情報をやっているはずなので、それで卵が死んでしまえばすぐにわかるはずです。そうすると当然腐ってきますから、自分で処理するとか、そういうことはあり得ると思いますので、おかしいことではないかなと思います。 [REDACTED] ・はい、ありがとうございました。 [REDACTED] ・ [REDACTED]。 [REDACTED] ・そのとおりで、間違っていないと思います。 1つ、フクロウが死んでしまったという、その原因ですけれども、多分オオタカではないかと言っているのですが、本当にそうなのと僕は思うのです。フクロウというのはもっと違った習性があるので、例えば殺鼠剤とか農薬の関係はなかったのかなという感じがするのですが、その辺の調査はしなかったですか。フクロウの死因について。 [REDACTED]

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>・死因については、特にそういう農薬とかの調査まではしていないですね。(事務局 石田)</p> <p>・死因の分析はぜひやるべきですよ。かなりフクロウが死ぬという話があって、農薬の関係とか殺鼠剤とか、そういった毒物によることというのはあるのではないかということが言われているので、死体はもうないのでしょうけれども、あれば調査してもらっていいと思いますよ。 [REDACTED]</p> <p>・今回、頭部がもぎ取られていたというような状況だったので、ほかの猛禽類に襲われたのではないかというふうに判断して記載させていただきましたけれども、今後何かあったときには詳しく調査するようにいたします。(事務局 川邊)</p> <p>・それは弱っていれば、猛禽類にやられてしまうということはあるのだけれども、健康な状態でやられるということは普通はないのです。 [REDACTED]</p> <p>・ほかはよろしいですか。もしなければ、私からお願いも含めてお話ししたいと思うのですが、供用が開始されて調査関係の担当がNEXCOさん変わったということで、経験をまだ積んでいない方たちが、当然調査の方たち、専門家はいらっしゃいますけれども、新たな取り組みで今後進めていただきたいと思います。ですから、今の御説明を聞いていても連携がとれていないというのはよくわかる。今後きちっと連携をとっていただきたいと思います。繁殖が失敗しているということに対してどういう分析をしたらいいかとお考えになってますか。ただ状況をモニタリングすることではなくて、求められているのはそこですよね。そうすると、ステージごとに失敗が考えられるわけですが、求愛造巢期で失敗した場合と抱卵で失敗した場合と育巢で失敗した場合と、原因に関しては複数の可能性が想定されるわけですね。そういった点を考えて得られた結果をきちっと分析されていますか。お話を聞いていると全くやられていないように思うのです。</p> <p>で、複数箇所ありますから、状況がそれぞれ変わって違うステージでの失敗ということですが、横並びに見てみると、求愛造</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>巣期での失敗というのが結構ふえているというか、ほとんどなのです。卵が産まれてという状態以降というのはLぐらいしかないですかね。そうすると、何で求愛造巣でやめてしまうのかの可能性を考えていただきたいです。それを考える上では、彼ら自身に問題があるのか、彼らを取り巻く環境に問題があるのか、2つの側面が検討されるべきだと思うのですが、その辺は情報としてどう持っていらっしゃるのか。どんな情報を得ているのか。そういうところをこれからしっかり分析して科学的に検討していただきたいと思います。</p> <p>その際に、開通後しばらく成功していて、2～3年前から失敗が続いているという状況だと、その成功しているときの状況とその後失敗した時の状況と当然比較すべきですよ。その際に何をポイントとして比較すべきなのかというのを考えていただきたい。</p> <p>それから、そういう状況ではない、工事前に失敗しているというところもありますけれども、長くなるのでこのぐらいにしておきますけれども、いろいろな状況の想定のもとにきちっとデータを生かして考えていただきたいというのが注文です。今回、これでは全然議論できないです。「こうなっていました」の話しか聞けないですから。以上です。</p> <p>ですから、今の話は次回の大きな宿題ですかね。一よろしいですか。NEXCOさんもしっかり取り組んでください、終わったことではないので。</p> <p>そんなところで、会議資料②に基づいた御報告の前半はこれよろしいですね。</p> <p>それでは、植物の御説明をお願いします。■■■■■</p> <p>・それでは、会議資料②の39ページ目以降でございます。第2章「坂戸高架下における環境調査及び希少植物生育可能性調査」の結果について御説明いたします。40ページ目をごらんください。</p> <p>坂戸高架橋下における環境調査ということで、左側が現地の状況写真を掲載してございます。40ページ目の右側が地下水位の調査結果でございます。調査結果につきましてはこのグラフを見ていただきたいと思いますが、グラフのとおり毎年6月から9月ごろまでは水田の水入れに伴い地下水位が上昇しまして、水域が形成されるというようなことが確認されまして、この傾向は経年的に大きな違</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>いというのは見られませんでした。</p> <p>続きまして、41ページ目が光環境調査の結果でございます。</p> <p>右側の経年変化のグラフのとおり、相対光量子束密度につきましては、オレンジ色が高架橋の南側で、緑色が中央、青が北側ということで、傾向としましては、青色の北側の地点よりもオレンジ色の南側の地点で値が大きくなっているという傾向が見られまして、この傾向には夏場、ちょうど夏至以降太陽軌道が低くなって太陽光が橋梁に遮られる時間が短くなった結果、光量子束密度が増加するというので、経年的には大きな違いは見られていないという状況でございます。</p> <p>続きまして、42ページ目が植物相調査結果でございます。</p> <p>平成28年度の調査におきましては、右側の表のとおり全34科115種の植物が確認されてございます。なお、この薄くオレンジ色で着色しているところがございますが、こちらが前回の調査結果より新たに確認された種でございます。特に水田で見られる在来種ということで、スギナとかハハコグサ等が確認されております。また、水域が形成される時期におきましては、水面にアオウキクサ等の浮遊植物が確認されているという状況でございます。</p> <p>続きまして、43ページ目が植生調査結果でございます。</p> <p>各地点に設定されたコドラートの植生を調査した結果、右側の縦軸に調査地点別、横軸に時系列で掲載してございます。調査地①～③では水域が形成されるということで、水域が形成されて草本植物が消滅して、アオウキクサ等の浮遊植物やヨシ等の抽水植物のみが残存したというような状況でございます。一方、水域形成以外の④～⑨におきましては、ヨモギ等の多年生植物が確認されております。また、ヤブマメ等のツル性植物が多年生植物に覆う形でマット状に広がっているということが確認されている状況でございます。</p> <p>左の下に、この植生調査結果の被度と種数ということで一覧に記載してございます。また、この写真の上にも同様に種数と被度を掲載してございます。</p> <p>続きまして、44ページ目が水生生物調査結果でございます。</p> <p>調査の結果につきましては、この右側の表のとおり32種の水生生物が確認されたということでございます。こちら先ほどの植物と同じく薄くオレンジ色で着色したものが前回調査結果より新たに確認された種でございます。確認された32種のうち24種が昆</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>虫類でありまして、水生昆虫がそのうち半分を占めているというところがございます。特にハイイロゲンゴロウが多く確認されておりまして、湿地内に生息する種ということで、周辺の水田由来ではないかと思われるところがございます。また、トンボ類も幼虫が確認されておりまして、特に冬季に水域が消滅する環境に適応した生活史を持つトンボ類の幼虫が確認されたというところがございます。</p> <p>続きまして、45ページ目が陸生生物調査結果でございます。</p> <p>まず、鳥類の調査結果でございます。調査の結果、右側の表のとおり合計で30種の鳥類が確認されたというところがございます。また、橋梁の下ではチョウゲンボウやスズメ、ムクドリ等の営巣が確認されておりまして、チョウゲンボウにつきましては3羽の巣立ちが確認されたというところがございます。</p> <p>続きまして、46ページ目が両生類・爬虫類・哺乳類の調査結果でございます。</p> <p>調査の結果につきましては表に記載してございまして、オレンジ色のものが今回調査で前回より新たに確認された種というところがございます。結果につきましては、ニホンアママガエルやトウキョウダルマガエル等の3種やシマヘビとかアオダイショウ等のヘビやアライグマやタヌキ等というものも確認されているところがございます。なお、トウキョウダルマガエルにつきましては、幼体が確認されましたが、卵塊は確認できなかったというところがございます。ということで、このカエル類を餌とするヘビ類も同様に確認されているというところがございます。また、アライグマ等も無人カメラで撮影されておりまして、フェンスのすき間から行き来しているのではないかとと思われるところがございます。なお、今回の調査では、特定外来生物のウシガエルは確認できませんでした。</p> <p>続きまして、昆虫の調査結果でございます。47ページでございます。</p> <p>調査の結果、右側の表と48ページ目にも昆虫類の調査結果ということで、2ページにわたって掲載をしております。合計としまして、昆虫類も122種確認がされたというところがございます。確認された種につきましては、ゴミムシ類やアリ類のほか周辺から飛んでくるチョウ類とかカメムシ類も主に確認されているところがございます。また、7月及び9月の調査では水辺を好むアジイトトンボを初めとするトンボ類の確認もされているところござ</p>

項目	主な意見と回答
1) 平成28年度繁殖期の調査結果	<p>ざいます。</p> <p>49ページ目が、参考ではございますが、今年度調査で未確認の種ということで記載してございます。坂戸高架橋下におけるこれまでの環境調査で確認されまして、今年度未確認になった種ということで整理したものでございます。なお、調査年度ごとに気温等の気候が異なるほか、偶発的に確認された場合等も想定して、過去2年間ということで26年度～27年度調査結果で確認された種のうち今年度確認されていなかった種というものを対象に整理してございます。結果としましては、植物相調査結果につきましては20種、水生生物調査では6種、昆虫類では6種が今年度の調査では確認されなかったというところでございます。また、鳥類及び両生類・爬虫類・哺乳類につきましては、特に対象となる種はありませんでした。</p> <p>続きまして、50ページ目が希少植物生育可能性調査結果でございます。</p> <p>坂戸高架下におきましては、平成26年11月及び平成27年6月にオグルマ、平成27年5月にミゾコウジュの移植をされています。調査結果でございますが、右側の表で、まずミゾコウジュにつきましては移植箇所のA付近で最大7株の生育が確認されてございます。そのうち3株については開花及び結実が確認されたというところでございます。オグルマにつきましては、全ての移植箇所での生育が確認されているというところでございます。</p> <p>続きまして、詳細については51ページに記載してございまして、ミゾコウジュが確認された位置と開花と結実状況の写真を掲載してございます。ミゾコウジュにつきましては、移植箇所の周辺で確認されておりまして、今回確認されたものは移植個体の再生産によるものと思われるところでございます。右側がオグルマについてございまして、移植した段階からの株数の変化ということで載せてございます。株数が増加しているというところでございまして、移植個体が活着したのではないかと考えられます。まとめとしましては、ミゾコウジュにつきましては移植個体の再生産が確認されておりまして、オグルマにつきましては移植箇所の活着が確認されたというところでございます。ミゾコウジュにつきましては移植後1年目でございますが、オグルマにつきましても移植後2年目というところでございますので、引き続きモニタリング調査を継続</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>して、高架下での希少植物の生育条件等を確認してまいりたいと考えてございます。</p> <p>続きまして、52ページ目でございます。こちらにつきましては、これまでのオオタカ会議における坂戸高架橋下についての審議経緯を整理したものでございます。</p> <p>1つずつ順に行きますと、まず第1回のオオタカ会議におきまして、圏央道オオタカ等保護対策市民協議会から「圏央道越辺川周辺工事箇所における希少動植物の保護対策と外来植物駆除対策の実施に関する要請」ということを提示しまして、それにつきましては特に意見はないということをお願いしてございます。</p> <p>その後第4回の会議におきましては、会議の中で提示ということで、圏央道事業地内にて当該地区に生息するサシバ営巣地に対し生息環境保全を図ることを目的とした整備を実施し、希少植物の移植実験も実施するというものを提示しまして、主な意見としましては、どういう形でビオトープとして活用できるか報告してほしいという意見をいただいています。</p> <p>続いて第5回の会議におきましては、実験地の整備の完了と希少植物の移植を23年に行い、その後[REDACTED]の研究室で調査研究を行うということを御提示しまして、主な意見としましては、実験は実施するが、条件が悪いため少し心配な結果の可能性のあることを踏まえてほしいという意見と、オグルマ、ミゾコウジュにとっては過酷な環境であるという意見をいただいております。</p> <p>続いて、第13回の会議におきましては資料等の提示は特段ございませんでしたが、主な意見としまして、坂戸高架橋下の問題が頓挫しており、現況を報告してほしいということと、時期によって乾燥するため十分に湿地化できていないのではないかとということと、周辺の水田の状況と絡んで地下水の消長があり、用排水路をとめた冬場には乾田になって乾いた状態になる、その中でどの程度植物が自立的に耐えられるかということは確認が必要であると。また、高架下の環境は改変前と大きく変わっている、移植は実験的な位置づけと認識すべきである、また今後については現況を考慮した上で検討したほうがよいということ。また、高架橋ができることによって光条件、水分条件が変わり、乾燥化傾向になる、そのことを踏まえてその都度何がベストになるかということをチェックしながら進めていかざるを得ないという意見をいただいております。</p>

項目	主な意見と回答
1) 平成28年度繁殖期の調査結果	<p>続いて、第15回の会議におきましては、提示としましては今後の進め方というものと環境調査結果について報告をいたしております。主な意見ということで、常時水がたまるような状況にすることはできないかということと、冬場に水がなくても絶滅危惧種のみズワラビが確認されているように、水田耕作のサイクルに適応した種が今後も確認される可能性が高いということ。水田耕作のサイクルに適応している種の有無等を確認した上で今後のビオトープのあり方、どういう環境構造が重要なのかを議論すべきであると思うので継続調査が重要であると。また、アキアカネのように冬季に水域が消失する環境に適応した生活史を持つ種の生息が確認されていると。ある程度結果を出して広げていくという理解でいいのかという意見をいただいています。</p> <p>18回の会議におきましては、環境調査結果の提示をしまして、主な意見としましては、環境調査の結果を踏まえ、オグルマ、ミゾコウジュを移植するところは常時水がたまる環境とするべきではないかという意見。また、どのような条件が貴重種にとって必要かを検証するための第一段階の検証実験であり、この結果をどのように生かしていくかは現段階で十分議論できないため将来的に検討する方針がよいのではないかという意見をいただいています。</p> <p>第22回会議におきましては、環境調査結果と希少植物の移植等の状況を提示しておりまして、主な意見としましては、常時水を確保する方法は何か検討しているのか、冬季に水域が消失してしまうと魚類等が生息できないため、さらに1.5m程度掘り下げるべきであるという意見と、たった20m程度の範囲ではミティゲーションとして不十分であるため、当実験地を一つのモデルとしてどんどんふやしてほしいという意見。また、高架下についてどの程度の自然の再生が可能なのかということをおある程度押さえておく必要がある、それを検証するために調査等を行っているため、調査結果を報告するだけでなく将来的な方向性を示していただきたいという意見。</p> <p>第26回の会議におきましては、環境調査結果とオグルマの移植1年目のモニタリング調査結果を御提示しています。主な意見としましては、当初は当実験地での取り組みを踏まえ、より広い範囲に拡大していく方針であったと認識している、当実験地の左右の高架</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>橋下への拡大も検討すべきであるという御意見と、再度認識を共有するため坂戸高架橋下について今まで議論したことを整理し、次回会議で提示すべきであるという意見をいただいております。</p> <p>以上、審議状況におきまして主な意見を取りまとめたものが53ページということでございます。</p> <p>以上でございます。(事務局 石田)</p> <p>・今の説明は、この間の事前の説明のときも全く同じですけれども、私が意見書で指摘した、大宮国道事務所の見解が全く示されていないわけですね。これは非常に片手落ちだと思うのですが、どうして意見に対する回答が記されていないのですか。■■■■■</p> <p>・うち、事務所及びNEXCO共有の見解ですけれども、こちらは先ほど冒頭話させていただきました■■■■■からいただいた意見書にも記載されていることです。こちらについては、当方の認識としましては、前回第26回会議においては、この坂戸高架橋下について今まで議論した問題点を整理して次回会議で提示するよう御意見をいただいたと考えております。そのため、このような整理をさせていただいたということになります。(事務局 川邊)</p> <p>・だけど、議論した内容について事務局にこういうことを検討してくださいよと言ったら、わかりました、こうしますというのがあって成り立つわけですよ。僕は一番、そういう点で今日見て、大宮国道事務所のやり方が非常に問題だなと思うのは、前26回の議事録ですよ、これは未定稿ですけれども。これ、実は■■■■■がビオトープを広げるべきではないかと、そういう約束ではないかと、ここに書いてあるとおり、議論を整理してあるとおりに。私もそのように言った。それについて■■■■■は、「御心配なのは、将来どうしていくかというところでどうつなげるかということなので、内部で検討していただいて、次回の会議に話を出していただければありがたい」と。—いいですか。その後、「わかりました」と事務局が言っているわけですよ。</p> <p>ということは、次回で将来へどうつなげていくか、それをきちんと検討したものが今回出てくるわけですよ。議事録をそういうふう</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>に整理してなかったら、我々は言いつ放しの意見だけが書いてあって、事務局がどう検討するかが書いてないと、何をやっているかわからないわけですよ。今日、これ持ってきているのですか、内部で検討した資料というのは。 [REDACTED]</p> <p>・ ございません。(事務局 川邊)</p> <p>・ だって、おかしいじゃないですか、だったら。そういうふうに整理されていないということでしょう。ということは、自分たちの都合のいいことは私からいえばネグっているとしか見えないじゃないですか。だって明確に「わかりました」ということですよ。</p> <p>もう一回言いますよ。私と [REDACTED] で、こんな狭い範囲であくまでも実験的にやっているわけですから、これを将来どう広げるかということ意見を出したら、 [REDACTED] でそれを整理して次回にきちんと将来どうしていくかというところにどうつなげるかと。内部で検討して次回の会議に話を出すと。ここで整理されていないのが非常に僕は不満ですけども、少なくともそれについて事務局は「わかりました」と書いてあれば、今日出てきた資料がやるべきことをやっていないということがわかるわけではないですか。今までの第1回からそれを整理しなかったらわからないですよ。 [REDACTED]</p> <p>・ うちとしましては、とりあえず委員の皆様からいろいろなご意見をいただいているところでございます。その中で当方、道路事業者側としての見解を出すのは、まだちょっと出せないのかなということで、前回お話いただいたものは、このようなものを整理するようにというようなものだったのかというふうに。(事務局 川邊)</p> <p>・ そうじゃないですよ。それは当然、座長のとりまとめに対して事務局がどう答えたかということが書いてなかったら、整理にならないじゃないですか。 [REDACTED]</p> <p>・ ちょっとよろしいですか。今の段階では我々が希望したことに關するきちっとした回答はできないと。とすると、なぜできないか御説明していただいて、今後どうするのかという部分に関して少なく</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>とも今回出していただかないと、先に進めないですね。■■■■</p> <p>■■■■</p> <p>・それより、その前にこの審議状況にちゃんと事務局がどう答えたかという事実をやはり書いてもらわないと。だって、議事がそれで進んでいくわけですから。あくまでも我々は議事した内容について座長がまとめて、それを事務局に次回はどうしてくださいますかと提案して、それについて事務局の考えが、できます、これはまだできませんとか、そういうのを回答して進んでいくわけですから。それが正確に整理されてなかったら、我々が言ったことだけが議論されただけで、中身が全然進んでいかないということでしょう。</p> <p>で、今回提示されたの第26回の整理も一番大事なところが抜けているわけですよ。だって事務局はちゃんと「わかりました」と言っているわけでしょう。それがこれ書いてあれば、今回出ていなくてもみんな委員も思い出して、何で出ないのですかと意見言うけれども、記すこともなかったらわからないで、そのまま我々が聞き過ぎてしまったらー。だって、我々が意見を言わなかったというのは我々の責任ですから。そんなおかしいですよ、こういう整理の仕方は。■■■■</p> <p>・当方の進行としましては、委員の方々の御意見、また今後のモニタリングの状況を見て今後の対応について考えていきたいと考えておりました。(事務局 川邊)</p> <p>・ちょっと待って。審議状況はきちんと、大宮国道事務所は事務局としてきちんと意見と、それについて答えたことを正確に書いてください。私はそれを要求するのですけれども、ほかの委員の方は要らないですか。■■■■</p> <p>・審議の中では必要ですよ。それは両方書かないとだめだ。■■■■</p> <p>■■■■</p> <p>・それでは、こちらはこれまでの経緯について、会議の際に事務局が回答した状況にいても整理するようにさせていただきます。(事務局 川邊)</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>・議論がきちっと区切れるようによろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>内容に関しては御報告レベルの話なので。 [REDACTED]</p> <p>・これ、前から言っているのですけれども、だってこれだけ長い距離の圏央道をつくって、たった20mビオトープつくりましたというのは何言っているのだという話でしょう。しかも、鳥を見れば存在感をもっと広く見てしまっているわけよ、30種類も。20mの中だけに鳥が30種類いたの、そうじゃないわけでしょう。だから、当然こんな実験所をもっと何か所もやらなければだめだよ。</p> <p>そういうことで、これについてはもう少しちゃんとビオトープをつくって、実際どうであったかということをお報告してもらって議論しないと。これが将来性だよ、財産を残すのだということのあかしだよ。我々世代が子供たちのために頑張っていますよと。もう少しちゃんとやりましようよ。もっと広げて、ね。 [REDACTED]</p> <p>・それを今日事務局が提案することになっているわけです。 [REDACTED]</p> <p>・進行役がうまくないので、時間が相当オーバーしているのです。あと30分しかないのです。とぼ口かなという感じですがけれども、どうしますか。今の [REDACTED] の御指摘だけではなくて、まとめられた内容の中にこのビオトープに関する調査をどう生かすのだと、そこを繰り返して求めているわけですよ。それに対する回答をきちっと次回出してください。できる、できないということはああるのかもしれないですが、きちっと理由を説明していただかないと納得できないですから。 [REDACTED]</p> <p>・申しわけございません。とりあえず本日いただいた御意見を踏まえまして、また事前に座長とも御相談させていただいた上で、次回の際には何かしらのものを御提示させていただきたいと考えます。 (事務局 川邊)</p> <p>・今の御回答でよろしいですか。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>・桶川の高架下のビオトープが全く進んでいないというのはどうい うことですか。 [REDACTED]</p> <p>・その先の資料になりますが…… (事務局 川邊)</p> <p>・結果的に同じことなのです。道路工事に関係する方は全てちゃんとやっ て、開通したら環境対策として大事なこういう本来の代償措 置を全くやっていないのです。それで、僕がなぜこんなに問題視す るかという、委員の方に配りますけれども、上尾道路でも非常に 問題があつて一ちょっといいですか。(資料配付)</p> <p>2枚目に上尾道路。やはり上尾道路も、保護団体と約束した検討 会議から1年、全くすっぱかして、それで、今環境保護対策検討会 議の委員から総スカンを食っているのです。全くこと同じな のです。道路を供用するためには急いでやるけれども、供用してしま ったら、もうあとはサボタージュする。それに近いのです、このやり 方というのは。ですから、僕は後で言いますが、上尾道路に ついての保護対策検討は一切このビオトープの見通しが立つまで はやりませんよ。やらないというふうに意見を出しますからね。そ れは当然ですよ。ほかのところも、上尾道路の環境対策でも同じこ とをやっているのです。 [REDACTED]</p> <p>・今 [REDACTED] から初めてこの資料をいただいたのですけれど も、この会議の中でどのようにこれを取り扱いますか。 [REDACTED] [REDACTED]</p> <p>・上尾道路のこれは、江川の環境関係のお話かと思われ ます。 こちらについては、すみません、恐縮ですけれども、今回……。 (事務局 川邊)</p> <p>・江川のご関係でございますが、議論は今まで続けてき ましたが、このような形で今初めて事務所として文書を拝見したところ ございまして、全体を読んで組織として回答をさせていただきたいと思 います。(事務局 小林)</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>・問題は、実施することが決まっていた代償措置をずっとしていないで、道路の工事だけはどんどん急ぐというのは、対策のあり方として非常に問題だと思うのです。 [REDACTED]</p> <p>・申しわけございません。今こちらの関係の担当にも確認したのですが、事務所としてこれを見たのは初めてなものですから。(事務局 小林)</p> <p>・ああ、そうですか。 [REDACTED]</p> <p>・申しわけございません。こちらの中身を事務所として読ませていただいて、それで必要に応じて議論をどのように進めていくかということについて考えたいと思います。(事務局 小林)</p> <p>・では、そういうことで。時間も押していますので、議事次第の「繁殖状況の整理」の説明ですか。 [REDACTED]</p> <p>・申しわけございません。今の調査結果に附随しまして、参考資料①その他、続いてよろしいでしょうか。資料の並び順が……。失礼しました。</p> <p>参考資料①「その他」について、まず目次を見ていただきまして、「調査地Hにおける猛禽類調査結果」、「営巢林の保全に向けた取り組み」、あと先ほど [REDACTED] から御指摘がありましたけれども、「高架下及び桶川加納IC周辺のビオトープ整備状況」についての御報告をさせていただきます。</p> <p>まず、めくっていただきまして①-1「調査地Hにおける猛禽類調査結果」でございます。こちらの調査につきましては、従前うちの国土交通省荒川上流河川事務所で調査を実施しておりまして、その結果について御報告させていただいておりますので、同様に御報告させていただきます。</p> <p>調査につきましては、平成28年7月6日までに現地調査を実施しております。概要をいきますと、越辺川周辺においてはチョウゲンボウの繁殖を確認しておりますが、オオタカ・サシバの繁殖は確認されていない状況となっております。</p> <p>まず、オオタカになります。オオタカは、こちらでいきますと右</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>下のところに凡例がございます。丸で記載されているのが過去の営巣地点となりまして、赤箇所が平成27年に確認されている箇所になります。調査地図でいきますと真ん中より少し左上の部分に赤丸が記載されておりまして、旗揚げでオオタカ営巣地点（H22～27年）となっております。こちらで過去営巣しておりましたけれども、28年は営巣は確認されていないという状況です。巣は残存しております。</p> <p>続いて、サシバになります。サシバは、下流域については昨年の調査においては生息及び繁殖というものは確認されておられません。27年使用の巣につきましては、ちょうど真ん中より少し下、右側になります、赤の四角で記載されているものになりますけれども、こちらについては平成28年は巣そのものが消失しているような状況となっております。また、サシバの上流になります。上流につきましては平成24年以降確認されていないというような状況となっておりますので、上流については赤の四角というものはプロットされていないというような状況になります。ことしは生息及び繁殖は確認されていないという状況になります。</p> <p>チョウゲンボウにつきましては、先ほど圏央道の調査結果がございましたけれども、こちらにありますように24年～27年と同じように圏央道の橋脚部のすき間での繁殖、幼鳥3羽を確認しているという状況になります。図面ちょうど真ん中あたりの赤の△印、そちらの箇所でチョウゲンボウが確認されているという状況になります。</p> <p>① - 2は、調査地①の空撮図になります。</p> <p>続いて、「営巣林の保全に向けた取り組み」、こちらはNEXCOからお願いいたします。（事務局 川邊）</p> <p>・続きまして、「営巣林の保全に向けた取り組み」ということで、参考資料①の3ページ目でございます。</p> <p>調査地Lの営巣林についてでございます。桶川市においては、「桶川市みどりの保全及び推進に関する条例」というのを定められてまして、自然環境を保全するため保存樹木・樹林の指定とし、保護する取り組みが行われているところでございます。この調査地Lの営巣林につきましては、昨年12月1日付で新たに保存樹林の指定がなされたということで御報告をいたします。今回指定された範囲</p>

項目	主な意見と回答
1) 平成28年度繁殖期の調査結果	<p>は、右の写真のオレンジ色の破線でされている箇所が新たに加わったということでございます。これにつきましては、報告ということでさせていただきます。</p> <p>続きまして、めくっていただきまして4ページでございますが、「高架下及び桶川加納ICビオトープ整備状況」ということで、まず高架下の状況でございますが、4ページと5ページに地図と写真を記載してございます。現在の状況としましては、橋桁下の調整池と水路等の工事はおおむね完了してございまして、現在各区画の周囲に管理上の観点からフェンスの設置を行っているというところでございます。現在フェンスは設置中でございます、今後地元調整が完了次第、植栽基盤工と植栽工に着手する予定でございます。</p> <p>また、参考資料①-6が桶川加納IC周辺の調整池のビオトープ化の状況でございます。まず、IC周辺の在来植生による自然化ということで、植栽した樹木につきましては植栽後1年が経過しておおむね順調に生育しているという状況でございます。また現在、この調整地内において抽水植物帯の整備・植栽、また浮島や木工沈床などの施工に着手している状況でございます。</p> <p>ここで一つ植栽計画の提案についてということで、確認をさせていただきたいことがございます。</p> <p>1つ目が現場の日照条件を踏まえた提案ということで、下に配置計画ということで第16回会議のときの資料を掲載してございますが、この調整池の周りに緑化ブロックの中に植栽するという計画でございます。現場の日照条件を踏まえた提案ということで、緑化ブロック内の植栽で、現計画はアオキ、イヌツゲ等となっております、今回提案ということで北向きの斜面につきましてはアオキ・イヌツゲで現計画と変わらず、南向きの斜面につきましてはムラサキシキブ、ヤブコウジ、マンリョウ等、在来種の育成中の苗木の中から選定しまして、比較的日の当たる場所なのでこのような種を植えたらどうかと考えてございます。</p> <p>2つ目が昆虫等の生息拡大に関する提案ということで、抽水植物帯の植栽につきましては、現計画はヨシ、フトイ、コガマ等となっております。今回提案ということでヨシ、フトイ、コガマに加えてハス、スイレンを追加したらどうかと考えてございます。また、浮島の植栽ということで、現計画はヨシ等となっておりますが、ヨシに加えてカキツバタの追加を今考えているところでございま</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>す。なお、ハス、スイレン、カキツバタにつきましては、見沼区の生産者から調達を予定してございます。</p> <p>以上提案ということで、確認をさせていただきたいなと思っております。</p> <p>資料の説明は以上でございます。(事務局 石田)</p> <p>こちらで今桶川加納とかを説明させていただきまして、また■■■■からの御意見いただいているものに関して、補足で御説明させていただきたいと思っております。桶川加納につきましては、先ほども御発言をいただきましたけれども、全然状況が進捗していないのではないかというものについての状況報告になります。</p> <p>こちら冒頭は従前からお話しさせていただいている話になってしまうのですが、現在この整備箇所沿道というものは隣接して住居とか農地があって、生活や営農上の懸念に対する住民意見というものが当方に聞こえてきております。このため、着手に先立って周辺住民への合意形成が必要だと考えております。現在、慎重に地元合意形成に向けて対応を図っているところでして、先日地元の代表の方のところにお話しにいて、では今後地元で説明会を開催しようということになっております。今が、その説明会開催に向けてまた市も一緒になって調整しているところでございますので、申しわけございませんが、進展がないと言われてしまえばそうなのですけれども、もうしばらくお時間をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>また、御意見をいただいております一番最後の役割分担の話になります。役割分担につきましては、先ほど冒頭にお話しさせていただいたように今後ちゃんと整備して次回提示させていただきましても、責任分担につきましては、計画及び整備までの取りまとめについては、うち大宮国道及びNEXCOで共同で責任を持って行わせていただきたいと思います。また現場の施工と整備後の維持管理につきましては、NEXCOで責任を持って行わせていただきます。</p> <p>ちなみにビオトープ整備につきましては、過去第23回のオオタカ会議で開通後ビオトープ整備を完了し、ビオトープの育成を進めていくこと、ビオトープ整備についてはNEXCO東日本で実施するという事を御説明させていただきます。現時点で地元の関係が</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>ありまして、またまたそちらの調整に時間がかかっていることは申しわけございません。このため、いつ整備が終わるということについて今ここで述べることはできないのですけれども、引き続き頑張っていきたいと思います。申しわけございません。(事務局 川邊)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の御説明、いかがですか。 [REDACTED] ・地域でワーキンググループつくってやっていたよね。それには地元の周辺の人たちも入れてやっていたのではないですか。 [REDACTED] ・周辺の学校だとか企業とかが入っています。(事務局 川邊) ・地域住民の方は全く入れなかったのですか。 [REDACTED] ・とりあえず、入っていない方から反対的な意見をいただいているところでございます。そちらについては説明会で御理解いただきたいと考えております。(事務局 川邊) ・地域ワーキングは全然、その間は開いていないのですか。 [REDACTED] ・今年度は開催しておりません。(事務局 川邊) ・前年度は。 [REDACTED] ・27年9月です。(事務局 川邊) ・1回だけですよね。あのときも回数が少ないのではないかとたしか私意見を述べたと思うのですけれども。 [REDACTED] ・前回の会議でもそのようにいただいていると思います。(事務局 川邊) ・ビオトープ整備の問題については、消極的だと私は思わざるを得

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>ないのです。だって、道路をつくるのだからって反対はいっぱいいるわけですから、その中で説得していくわけですよ。これだってよりよい環境をつくるということで、この高架下ビオトープというのは道路をつくる代償措置ですよ。ということは、これができなかつたら道路供用開始するのは本来おかしいのです。でも、まあいろいろな諸事情もあるから、我々としては一生懸命やってくれるという予定で供用を認めているわけですよ。だから、その代償措置が全く進んでいないということは、本来からいけば供用をやめるべきだと思うのです。 [REDACTED]</p> <p>・地元の代表の方にはお話しをさせていただいて、地元の説明会を開催することについては了解を今いただいているところでございます。説明会を開催して地元で理解いただきたいと思いますと考えておるところでございます。(事務局 川邊)</p> <p>・わかりました。では、この高架下の両方のビオトープがきちっと整備できるまでは、上尾道路についてはいわゆる対策検討や調査の評価はしないということで、私は提案をさせていただきたいと思えます。 [REDACTED]</p> <p>・ほかの委員の皆さんはいかがですか。 [REDACTED]</p> <p>・全くそのとおりといえばそのとおりなので。もう少しというか、きちっと道路をつくるということとビオトープをつくるということは同じウエートなのだということの意識が足りないのではないかと思いますよ。現在世代の利益だけではなくて将来世代の利益はどうするのですかということが問われているわけでしょう。その辺が、私は世界を回ってわかるのだけれども、日本の評価が最近中国・韓国よりも下なのです。そういうことが配慮できていないからですよ。将来世代の財産となる自然環境をどうするのですか、と聞かれているのですよ。何と答えるのですか。 [REDACTED]</p> <p>・地元で説明会をやって、今そちらで開催ということで話しております。(事務局 川邊)</p>

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際見沼ビオトープあるじゃない、首都高が高架下に整備した。あそこ、現地見学やったらいいですよ。どう農業に問題があるのかというと、全然ないよね。こんなことは議論にもならない話ですよ。実際農家の人に見てもらえばわかる話だよ。議論したってしようがないでしょう。見たほうが早いですよ、近くにあるのだから。その辺積極的にやってください。目標としてはいつごろまでにそれはできるのですか、その話し合いは。 [REDACTED] ・ 説明会は、年度内は難しいと聞いております。(事務局 川邊) ・ 4月中ですか、そうすると。 [REDACTED] ・ 多分……。 (事務局 川邊) ・ 大体の目標つくるのだから、道路だって大体の目標でやっているでしょう。何もありませんということはありません。 [REDACTED] ・ 相手もいるので何とも言えないのですけれども。(事務局 川邊) ・ 道路供用だって相手がいるのですよ。供用はちゃんとスケジュールどおり、我々だってできるだけ協力してきたわけだよ。そういうのは、こういう代償措置を含めてやるということが前提ですよ。 [REDACTED] ・ いつごろまでにその辺の話がつくのですか。 [REDACTED] ・ 夏までには開催できると思うのですけれども。(事務局 川邊) ・ そんな先なの。供用もそれだけ遅れるよ。 [REDACTED] ・ 今いろいろ御意見をいただきまして、私どもの進捗が積極的でないではないかという御意見はご尤もだと思います。今また肝に銘じて急ぎやりたいと思いますが、市役所ですとか相手さんの事情もありますので、今この段階でいつまでというのをお約束させていた

項目	主な意見と回答
<p>1) 平成28年度繁殖期の調査結果</p>	<p>だくのは、かなり幅を持った形で課長から夏というふうに申し上げさせていただきましたが、一日も早く開催できるように調整は図りたいと思います。(事務局 小林)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この辺がきちっと整理されないと上尾道路の話もできないという御提案がありました。■■■■■ ・そこにつきましても、今日ああいった形で御意見をいただいております。また、そちらもまた違ったメンバーでの関係する方々もおられますので、私どもで対応を検討させていただければと思います。(事務局 小林) ・今のは、上尾の江川の関係の話です。(事務局 川邊) ・我々だってⅡ期分の上尾道路の検討があるわけでしょう。■■■■■ ・はい、あります。(事務局 川邊) ・それは、だから入れないですよということです。だって、代償措置が全く見通しが立たないうちにね。今までは代償措置ができるという予定だったわけでしょう。それができるかどうか、今の説明ではわからないわけですから、検討できないではないですか。ですから、代償措置をきちんと見通しを立てるまでは上尾道路についてはペンディングですよ。これは当たり前なことですよ。と僕は思います。■■■■■ ・もう時間があと15分足らずになりましたので、とりあえず圏央道に関して積み残しの会議資料③の「繁殖状況の整理」を御説明いただいて、その後どうするかを検討したいと思います。■■■■■
<p>2) 繁殖状況の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは会議資料③「繁殖状況の整理」につきまして御説明します。時間も時間なので、説明は簡単にさせていただきたいと思います。 <p>まず、表紙の裏、目次でございますが、第1章がオオタカの繁殖</p>

項目	主な意見と回答
2) 繁殖状況の整理	<p>状況で、第2章がサシバの繁殖状況の整理となっております。1ページ目と2ページ目と3ページ目が繁殖状況の整理ということでございまして、この表は従前の会議でも御説明をしておりますが、各調査地ごとに工事前、工事中、開通後の各段階におけるオオタカの出現状況や繁殖状況、巣立ちの雛数等を整理したものでございます。これに御説明しました28年の調査結果を追記して整理したというものでございます。</p> <p>1ページ目が調査地A・Bでございまして、2ページ目が調査地C・D-E・Fとなっております。3ページ目が調査地Lとなっております。</p> <p>4ページ目、5ページ目が営巣地の位置図でございまして、6ページ目、7ページ目、8ページ目がこれまでの会議でもお示ししておりますが、それに28年の調査結果を加えて整理したものでございます。いずれも傾向としましては変わりませんが、28年の調査結果が余りよくなかった分ちょっと薄まったという形でございます。</p> <p>簡単ではございますが、以上でございます。(事務局 石田)</p> <p>・御説明は終わりですか。第2章はいいのですか、サシバは。9ページ以降ですね、今は8ページまでお話があったのかなと理解しますが。■■■■■</p> <p>・それでは、サシバは私から御報告させていただきたいと思います。サシバについては、調査地Hの調査結果となっております。こちらは平成14年～28年で調査が実施されております。そのうち延べ15事例で繁殖結果が確認されているところとなっております。そちらの確認結果につきましては、9ページで整理させていただいているものになります。28年については確認できておりません。27年までで繁殖が確認されているというような状況となっております。</p> <p>こちらについて過去からの状況について整理させていただいたものが11ページになります。こちらについては、先ほどと同様に整理させていただいております。事業段階の状況としまして青のもの、平均の巣立ちの雛数が赤となっている状況になります。開通後の状況につきましては、データがどんどんふえていくという中で</p>

項目	主な意見と回答
2) 繁殖状況の整理	<p>若干巣立ちの雛数が少ないというような状況で、その他の地区と同様な状況となっております。</p> <p>また、12ページの「採餌場所の樹林面積と平均巣立ち雛数の関係」となっております。採餌場所の樹林面積につきましては、工事中一度少しこの棒グラフが減少している状況となっておりますけれども、その開通後に増加が見られているというような状況になっておりますけれども、平均の巣立ちの数につきましてはそれとは違う傾向となっております。逆に山形の状況となっておりますので、樹林面積との明確な関係は見られていないというようなものになります。</p> <p>その下の「採餌場所の耕作地面積と平均巣立ち雛数の関係」につきましては、コメントでは「工事中に減少し、開通後に増加がみられた。」としておりますけれども、コンマ単位の話で、余り変わっていないような状況となっております。このため、平均巣立ちの数と耕作地面積との関係についても明確なものはコメントが難しいものと考えております。</p> <p>(6) 番の「採餌場所内の林縁長と巣立ち雛数の関係」につきましても、こちらについては調査事例数が少ないため明確な関係については整理ができないような状況となっております。</p> <p>サシバの関係は以上でございます。(事務局 川邊)</p> <p>・ありがとうございます。全体を一くくりにして分析しているので、よくわからないというか、逆に見えないところが多いような感じもいたしますけれども、何か御意見ございますか。 [REDACTED]</p> <p>・この中で、調査地Hのところでおオタカとサシバの報告がなされております。資料③のところ、おオタカですと平成16年からずっと営巣が確認されてきて、ずっとほとんど雛が快調に育っていて、今年平成28年度は4月半ばまで営巣林で確認されていたものがいなくなってしまったということがあります。</p> <p>もう一つは9ページのサシバでございますが、サシバは平成14年から営巣を確認されておりますが、これ平成14年と1998年は何年の差があるのかちょっとわからないのですけれども、私たちが営巣を確認しているのは1998年からで、それから現在の2016年まではほとんど営巣が失敗せずに続いてきたと。28年にな</p>

項目	主な意見と回答
2) 繁殖状況の整理	<p>って両方とも4月早々で姿を見せなくなったということで、このことのある日突然と表現してもいいと思うのですけれども、姿を見せなくなったということについて何らかの報告は上がっているでしょうか、原因について。 [REDACTED]</p> <p>・調査地H、サシバですけれども、本日すみません、原因についてはちょっと確認できていないところです。(事務局 川邊)</p> <p>・オオタカについても同じですか。平成28年が営巣を確認されていませんよね。オオタカについてそうですね。ずっとそれだけ長い間あそこで営巣、繁殖をやってきたものが平成28年になったらもう生息調査でも生息している印もついていなくて姿も見えていないということになっているのですが、姿は見えているのですけれども、なぜ突然この2つの猛禽が営巣しなくなったのかと。何らかの関連があるのかないかわかりませんが、何かそれについての調査の人からの報告は上がっていませんかということなのです。原因と考えられるようなもの。 [REDACTED]</p> <p>・とりあえず原因的なものの報告は上がってきていないです。(事務局 川邊)</p> <p>・上がってない。比較的頻繁に行っている我々から見ていると、カメラマンの圧力が物凄く強いのではないかとということ、ほかの原因もいろいろ考えられますけれども、物凄く強いということが何らかの形で影響を及ぼしてこの28年は姿を見せなかったということにつながっているのではないのかなという印象を持っているのです。</p> <p>では、非常に繁殖環境としてはこれだけ巣ついているのですから素晴らしいところですよ。それを今後も継続するためにどういう対策をとったらいいかも考えていただくとありがたいと。いちNPOの者たちの努力だけでは間に合わないような要素もありますので、ぜひこうやったらいいというようなことを示していただければありがたいと思います。 [REDACTED]</p> <p>・その箇所で、猛禽類に限らないかもしれませんが、一般の</p>

項目	主な意見と回答
2) 繁殖状況の整理	<p>アマチュアだかカメラマンとかがそのところに行っているいろいろなものを撮影している、そういうようなところの巣の近くとかにも行っているのではないかということで、そのせいで猛禽類が嫌がってどこかへ行ってしまっているということですかね。あくまでも推測ですけれども。(事務局 川邊)</p> <p>・そう表現したいところですが、そうやってしまうとちょっと角が立つかなと思って言葉を慎んだのですが、巣の真下まで行わずらりと数人の人間がカメラを構えたらちょっと彼らも落ち着いて抱卵できないのではないかと、育雛できないのではないかと思われる節が、あそこでチョウゲンボウにもサシバにもオオタカにもそれが出ているので。チョウゲンボウは去年は3羽出たと言っていますけれども、一方では巣立ち直前でもってみんな死んでしまったよと言う人もいます。これは私自身が確認していないので、我々の仲間からの報告で、そういう報告もあります。もうほとんど数人単位でもってあるいは10人単位でもってカメラで追いかけ回しているというような状況がありますので、対策としてその辺のところを考えていただければありがたいなと思います。 [REDACTED]</p> <p>・県の環境部局とも相談をさせていただきたいと思います。(事務局 川邊)</p> <p>・対策の一つ二つ、次回は出していただけるとありがたいのですが。 [REDACTED]</p> <p>・ちょっと教えてください。10ページ、調査地Hの写真で南側に草を刈った跡がありますが、ここは河川敷の管理は事務所ではなされている、それとも私有地になってしまっていてやっているかどうか。 [REDACTED]</p> <p>・うちの事務所ではないです。うちの事務所ではないのですが。 (事務局 川邊)</p> <p>・民有地でしょう。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 上尾道路Ⅱ期 区間</p>	<p>・ビオトープの関係で夏までに地権者の方と説明会があるのですから、その結果を聞くときに一緒にやってもらったらいいのではないですか。 [REDACTED]</p> <p>・やはりあき過ぎたよね。その間に我々の要求というか、そういうことをきちっとやってこなかった、そこに問題があるよね。だから、その辺をあと一回きちっとしてもらって議論しようよということですね。それは確かにそうだなという感じはしますよね。報告されて聞きましたよと、報告しましたよと。またそう進んでしまうと、これもやはりちょっと心配だなという感じがするよね。 [REDACTED]</p> <p>・ [REDACTED]、いかがですか。上尾道路の問題に入っていいかどうかです。 [REDACTED]</p> <p>・ 入るかとかということですか。 [REDACTED]</p> <p>・ 説明を今お受けするかどうか。 [REDACTED]</p> <p>・ [REDACTED]さんの言った条件を満たすようなことをきっちり約束してだったら入っても構わないと思います。 [REDACTED]</p> <p>・ [REDACTED]、いかがですか。 [REDACTED]</p> <p>・ [REDACTED]の意見がいいと思いますが。 [REDACTED]</p> <p>・ それでは、今の御意見をお考えいただいて、それでどうしましょうかね。早目に対応できるのであれば近々のうちに会議をまた開いていただくと。それでお話をじっくり聞くということにしたいと思いますので、そういう前提で御用意いただければと思いますけれども。</p> <p>それでは、(3)番は積み残しになりましたが、種々の条件を整理して、この部分に関しての議論の場を設けていただければと思います。 [REDACTED]</p> <p>・ 先ほどの加納のビオトープの説明会につきまして調整をさせていただいて、またそのタイミングを座長にも御報告をさせていただき</p>

第27回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>(3) 上尾道路Ⅱ期 区間</p> <p>閉 会</p>	<p>ながら次回の開催時期、なるべく営業期に近い状態でお話を聞いて いただいて、もう始まってございますが、次の営業期の調査に反映 できるものがあれば反映していくということになるべくしたいな と思います。また調整の状況を座長に御報告させていただいた中で 次回の開催時期等を御相談させていただいて、その結果をまた委員 の皆様にお知らせするという形で進めさせていただきたいと思 いますが、いかがでございましょうか。—はい、ありがとうございます。 す。(事務局 小林)</p> <p>・私事ですけれども、私フリーになりますので、日程の調整は皆 さんに合わせやすいので、よろしくお願ひします。 それでは、進行をお返しします。よろしくどうぞ。 [REDACTED]</p> <p>・本日は、皆様お忙しい中お時間をいただきまして、まことにあり がとうございました。</p> <p>本日の議事録は事務局にて案をつくらせていただきまして、なる べく早目に皆様にお送りさせていただきたいと思ひます。</p> <p>また、次の第28回につきましては、先ほどの状況を踏まえて開 催させていただきたいと思ひますので、日程調整等ありますので、 その際にはひとつ御協力をお願いいたします。なお、本日の会議資 料についてはボリュームが多くあります。持ち帰りが大変かと思ひ ますので、もし何でしたらば置いておいていただければ後日当方か らまた郵送させていただきますので、そのまま机に置いていただ ければ結構でございます。</p> <p>本日、長時間にわたり御議論いただきまして、まことにありが とうございました。</p> <p>以上をもちまして、第27回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議 を終了させていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。(事務局 川邊)</p>